

行政経営改革アクションプラン (令和元年度～令和3年度) 取組状況に関する重点評価説明資料

令和2年10月6日(火)

総務部財政課

重点取組19 施策の成果の見直し

▶ 重点取組の概要

施策の成果については、総合計画実施計画事業または各部の重点事業について、事後評価等を加えることにより、意思決定過程におけるさらなる活用と、事業の選択や集中を目指すことを目的として、行政経営改革アクションプランにおいて見直しを行うことを掲げ、平成27年度決算より自己評価結果の掲載を実施することとした。

▶ 令和元年度の取組

平成30年度決算にかかる主要施策の成果報告書において、自己評価結果を掲載した。自己評価結果の掲載にあたっては、説明的な表現でなく、より成果がわかるような表現に改めるなどの改善を図った。

また、当初予算重点事業の公表資料との整合性を意識した作成に努めた。

例：平成29年度主要な施策の成果報告書抜粋 し尿処理施設管理運営費

し尿処理施設管理運営費		清掃事業課			千円
[04-02-04-010]					
決 算 額	国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
(230,221)					
192,461	0	0	0	192,461	

- 1 し尿処理場（アクアクリーン佐奈川）は、110k1/日のし尿処理能力を有する施設です。
平成19年度より、長期的な性能発注方式である包括的運転維持管理業務委託方式を採用し、し尿処理場の運転、維持管理及び必要物品の調達等の一連の業務を委託することで、省資源・省エネルギー、ライフサイクルコストの削減及び施設の長寿命化を図っています。
しかしながら、下水道の普及に伴い搬入量は年々減少していることから、下水道放流へ処理方式を変更し施設を簡素化することで経費削減を図るための前段として、下水道接続調査業務委託と予備前貯留槽防食塗装工事を行いました。

平成30年度主要な施策の成果報告書抜粋 し尿処理施設管理運営費

し尿処理施設管理運営費		清掃事業課			千円
[04-02-04-010]					
決 算 額	国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
(192,461)					
454,501	0	266,700	0	187,801	

- 1 公共下水道接続工事を行い、これまでの河川放流から公共下水道放流へ変更し、処理工程を簡素化することで、今後の運転管理費のコスト削減を図りました。
また、し尿中継槽防食塗装工事を行い、施設の長寿命化を図りました。
なお、し尿処理場の運転、維持管理及び必要物品の調達等の一連の業務は、包括的運転維持管理業務委託により、省資源・省エネルギー、ライフサイクルコストの削減及び施設の長寿命化を図っています。

- ▶ 重点取組の効果
評価過程の明確化

- ▶ 今後について

報告書の作成スケジュールの検討および総合計画実施計画事業または各部当初予算重点事業について、より分かりやすい事後評価等ができるようさらなる検討を行う。

平成27年度決算にかかる主要施策の成果報告書抜粋

農務課	農業振興地域整備計画基礎資料策定業務					151
	6	1	3	050	市が定める総合的な農業振興の計画である「農用地利用計画」について、見直しを行うため、基礎調査を実施する。	
	のうち 5,940				関係機関・各課との意見照会・調整等を行うとともに、見直しに必要なデータ等の収集に努め、計画通り基礎資料策定の調査を実施した。	
農務課	担い手育成総合支援事業負担金					152
	6	1	3	150	豊川市の農業の将来を担う人材を確保するため、新規就農を目指す者を対象とした研修塾の運営費など、支援事業費を負担する。また、豊川産農産物等の宣伝、啓発を目的に「とよかわ農業市」を定期開催する。	
	のうち 1,400				新規就農者を目指す者を対象とした研修として、22名が受講をした就農塾に対し、運営費などの事業費を支援した。また、「とよかわ農業市」を年6回開催し、豊川産農産物を積極的にPRした。	
農務課	市費単独土地改良事業					153
	6	1	5	020	町内会要望による農道の整備や樋門の耐震調査、ため池フェンス設置など、緊急度や事業効果を総合的に判断し実施する。	
	20,543				樋門の耐震調査1か所、排水路改良工事5か所、農道整備工事4か所、ため池フェンス設置工事1か所を実施し農業生産環境の向上、ため池の安全対策等を図った。	
商工 観光課	創業・経営支援相談事業					158
	7	1	2	161	創業及び経営の悩みを持つ創業者に専門家を派遣し、現場で経営に関するアドバイス等の支援を行う。	
	220				創業を考えている市民や売り上げの拡大等経営に関する課題を抱えている市内の中小企業に対して、中小企業診断士等の専門家がアドバイスを実施し、創業及び経営の改善に寄与した。	
商工 観光課	観光宣伝事業費					160
	7	1	4	010	観光基本計画のアクションプランに基づき、対外的なPRツールの作成として、観光ガイドマップのデザイン等を刷新する。	
	のうち 1,706				従来の折込型から周遊しながら見ることに便利なA5版の冊子へリニューアルし、ジャンル別のインデックス表示や写真を大きく取り扱うなど図鑑のように、より詳細でより分かり易い観光ガイドマップを作成した。	
商工 観光課	観光協会支援事業					160
	7	1	4	050	観光の振興のため、市観光協会が行う事業に係る経費の一部を補助する。	
	35,056				桜まつり、観光キャンペーンなどの事業に補助を行い、宣伝部長いなりんを活用したPR活動を71回実施した。また、JR東海・名古屋鉄道に協賛し、11回のウォーキングを開催した。延べ12,446人の参加があった。	
【環境部】						
環境課	住宅用太陽光発電システム設置費補助					139
	4	1	10	100	住宅用太陽光発電システムを設置した者に対して、1kWあたり20,000円（上限4kW：80,000円）を補助し、太陽光発電システムの普及促進を図る。（予定補助件数：200件）	
	のうち 15,629				補助件数は205件となり、当初の予定補助件数である200件を上回った。補助を実施した太陽光発電システムの出力合計は、1,021kWで、システムの普及と地球温暖化防止に効果があった。	

平成30年度決算にかかる主要施策の成果報告書抜粋

農務課	担い手育成総合支援事業負担金					152
	6	1	3	150	新規就農を目指す者を対象とした研修塾の運営費など豊川市の農業の将来を担う人材を確保するための支援事業費を負担する。また、豊川産農産物の宣伝、啓発を目的に「とよかわ農業市」を定期開催する。	
	のうち 1,500				新規就農を目指す5名に対し就農塾を実施し、営農に関する専門知識と機械操作等のより実践的な栽培技術の習得を支援することができた。また、「とよかわ農業市」を年6回開催し、新規就農者等に対し販売機会を提供するとともに、豊川産農産物の宣伝及び啓発に繋げることができた。	
農務課	市費単独土地改良事業					153
	6	1	5	020	地元要望や農事組合要望など、緊急度や事業効果を総合的に判断し実施する。平成30年度は、ため池フェンス設置工事を始め、萩地区予備調査業務委託等を行う。	
	11,337				かんがい排水路改良1か所、農道整備2か所、ため池フェンス等設置3か所、萩地区予備調査業務委託を実施し、農業生産環境の向上を図ることができた。	
商工観光課	チャレンジとよかわ活性化事業					157
	7	1	2	165	市内における「創業」又は「第二創業」、「経営革新計画」の認定を受けた中小企業者が行う新事業活動の展開、賑わいのあるまちづくりにつながるイベント事業及び「とよかわブランド」を活用した商品等の販路の拡大に係る経費の一部を支援する。	
	9,720				市内に事業所を開設した創業の14件、市内の事業所において実施された経営革新の5件、市内で開催されたイベントの1件、かわしんビジネス交流会への出展者2件に対して支援を実施し、地域経済の活性化に寄与した。	
商工観光課	観光協会支援事業					160 162
	7 7	1 1	4 4	050 901	観光の振興のため、市観光協会事業に係る経費の一部を補助する。都市圏でのプロモーション活動を実施するとともに、平成30年度に実施される愛知デスティネーションキャンペーンを活用して、豊川市への誘客や特産品のPRを図る。また、インバウンド対策として、観光協会ホームページの外国語サイトへのアクセス環境を整備する。	
	のうち 46,316				都市圏にて15回のプロモーション活動に加え、愛知デスティネーションキャンペーンに合わせて、商談会・旅行会社訪問を12回実施した。17の誘客企画を実施し、期間中延20,473人の利用があった。また、観光案内看板から観光協会の外国語ホームページへアクセスするためのQRコードの作成などを行い、観光振興に寄与した。	
環境課	環境基本計画策定委託					141
	4	1	10	901	次期環境基本計画を平成30年度から2か年で策定する。平成30年度は、計画準備や現況把握、アンケート調査等を実施する。	
	のうち 2,948				環境施策を総合的かつ計画的に推進するため、環境基礎調査や市民等意識調査などを実施し、次期環境基本計画の策定に向けた準備を進めることができた。	
環境課	案内標識設置事業					142
	4	1	12	010	豊川市斎場会館への案内を充実させるため、市道に歩行者・車両兼用標識1か所を新設する。	
	のうち 142				豊川市斎場会館周辺の電柱8か所に案内看板を設置し、利用者がアクセスしやすい環境を整備することができた。	
清掃事業課	清掃工場長寿命化事業					146
	4	2	3	010	清掃工場の長寿命化計画に基づき、B棟の基幹改良工事を行い、施設の延命化を図り効率性を向上させる。	
	のうち 612,536				長寿命化計画に基づきB棟の基幹改良工事を実施し、事業全体の86.05%を執行した。令和元年度までの5か年で実施し、終了後は10年程度の延命化に加え、施設全体で約3%のCO2排出量削減を見込んでいる。	

平成29年度決算にかかる主要施策の成果報告書 及び平成29年度基金運用状況報告書（抜粋）

し尿処理施設管理運営費 [04-02-04-010]		清掃事業課				千円
決 算 額	国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源		
(230,221)						
192,461	0	0	0	192,461		

1 し尿処理場（アクアクリン佐奈川）は、110k1／日のし尿処理能力を有する施設です。

平成19年度より、長期的な性能発注方式である包括的運転維持管理業務委託方式を採用し、し尿処理場の運転、維持管理及び必要物品の調達等の一連の業務を委託することで、省資源・省エネルギー、ライフサイクルコストの削減及び施設の長寿命化を図っています。

しかしながら、下水道の普及に伴い搬入量は年々減少していることから、下水道放流へ処理方式を変更し施設を簡素化することで経費削減を図るための前段として、下水道接続調査業務委託と予備前貯留槽防食塗装工事を行いました。

(1) し尿搬入量 21,997k1

(2) 汚泥焼却量 1,336t

(3) し尿処理に要した主な経費

ア 委託料（包括的運転維持管理委託等） 162,195千円

イ 工事請負費（貯留槽等防食塗装工事） 28,868千円

平成30年度決算にかかる主要施策の成果報告書 及び平成30年度基金運用状況報告書（抜粋）

し尿処理施設管理運営費 [04-02-04-010]		清掃事業課				千円
決 算 額	国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源		
(192,461)						
454,501	0	266,700	0	187,801		

1 公共下水道接続工事を行い、これまでの河川放流から公共下水道放流へ変更し、処理工程を簡素化することで、今後の運転管理費のコスト削減を図りました。

また、し尿中継槽防食塗装工事を行い、施設の長寿命化を図りました。

なお、し尿処理場の運転、維持管理及び必要物品の調達等の一連の業務は、包括的運転維持管理業務委託により、省資源・省エネルギー、ライフサイクルコストの削減及び施設の長寿命化を図っています。

(1) し尿搬入量 21,357kl

(2) 汚泥搬出量 1,105t

(3) し尿処理に要した主な経費

ア 委託料（包括的運転維持管理委託等） 165,534千円

イ 工事請負費（公共下水道接続工事等） 286,848千円